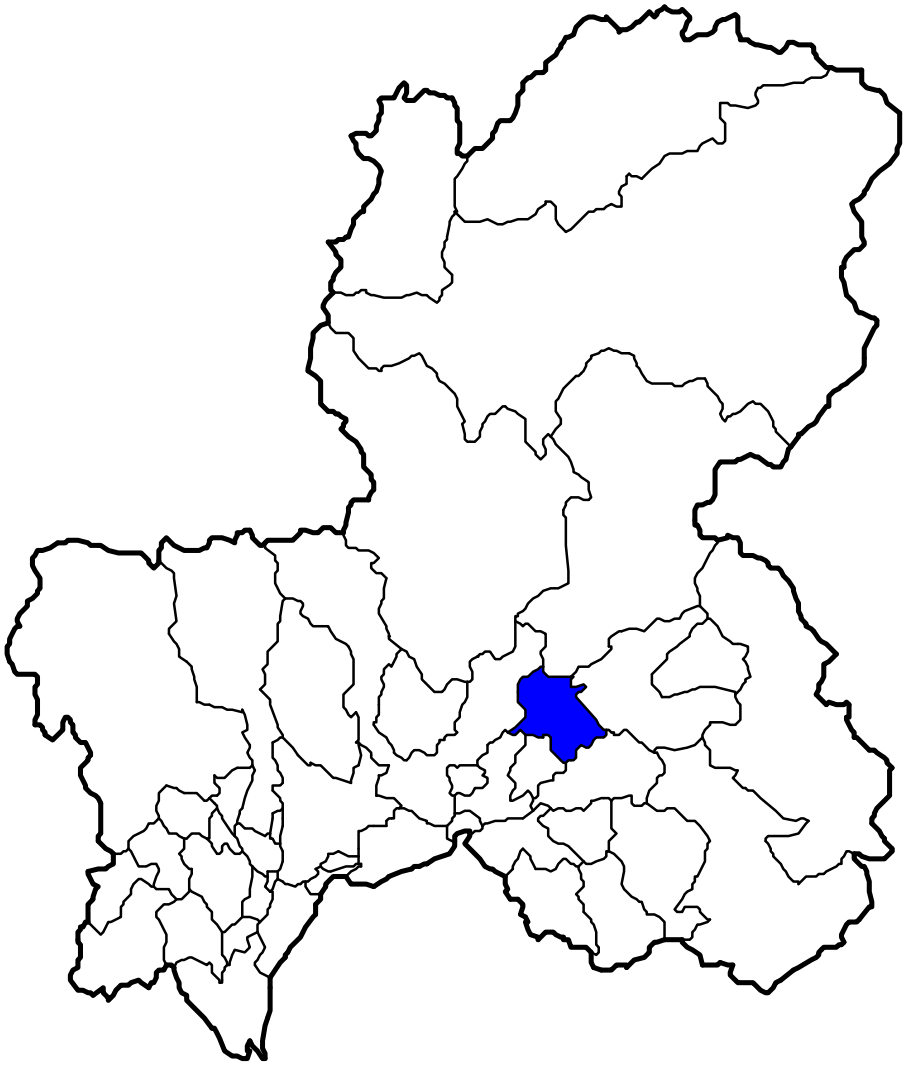
統計からみた
七宗町
の現状

総面積㎢	割合%	順位
90.47	0.85	21

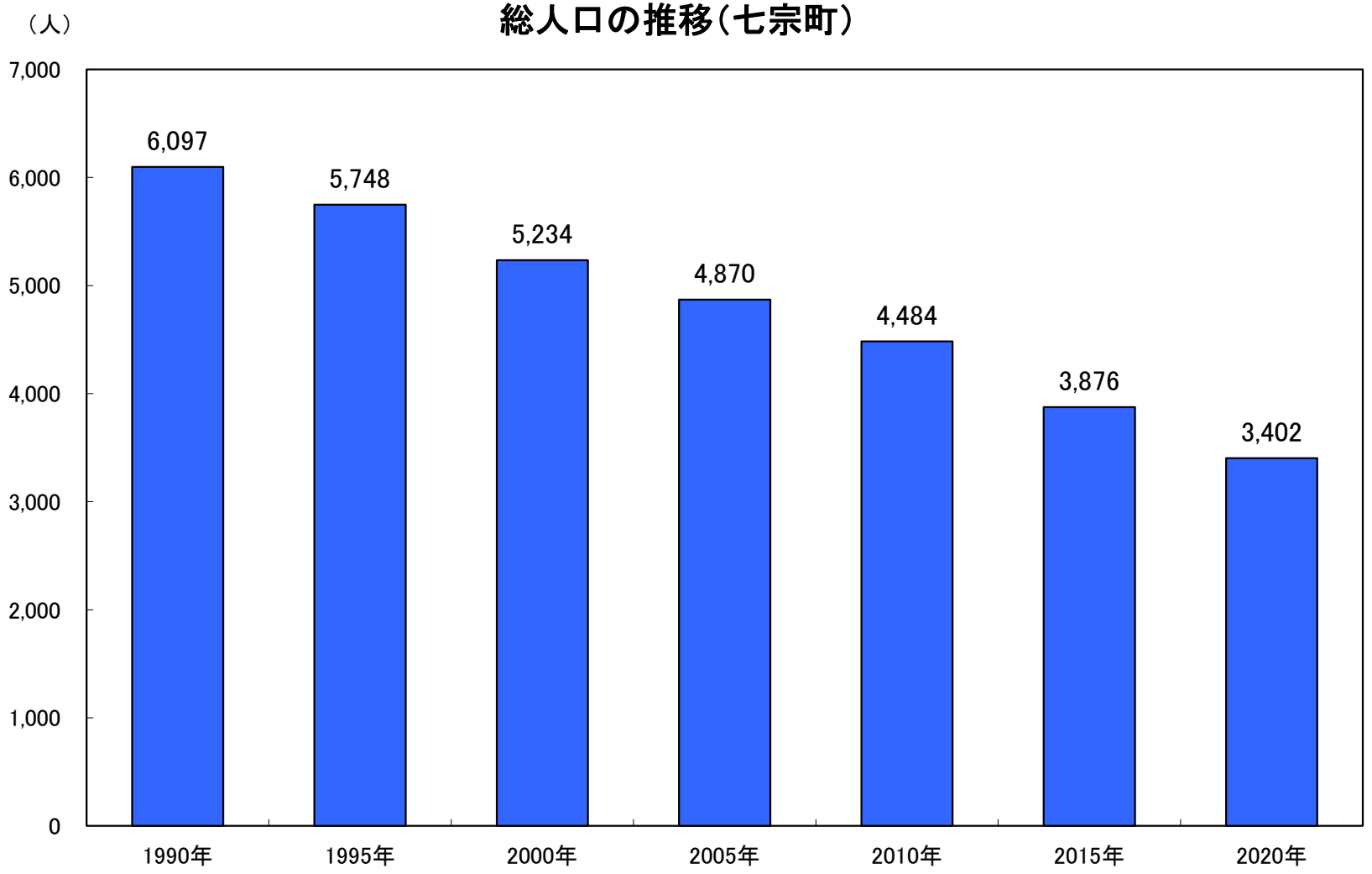
※割合：県全体に占める割合



岐阜県環境エネルギー生活部統計課
2025年7月更新

七宗町の人口は減少が続いている

2010年：4,484人 → 2015年：3,876人（△608人）
2015年：3,876人 → 2020年：3,402人（△474人）
人口順位：県内40位　県人口に占める割合：0.3%（1990年）→0.2%（2020年）



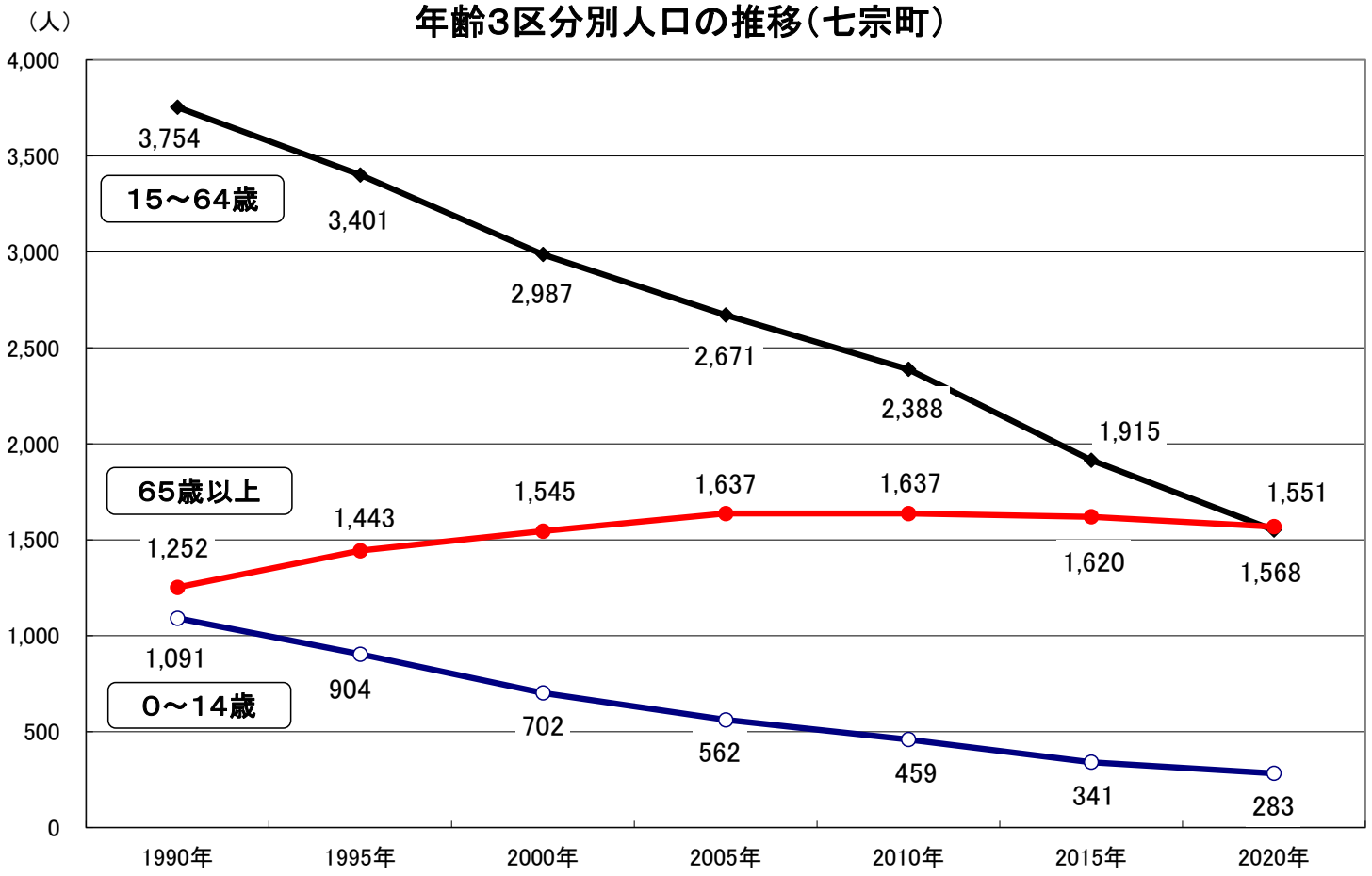
出典：総務省「国勢調査」

※各年10月1日現在

全ての世代で人口が減少している

人口の増減数	2010→2015年	2015→2020年
0～14歳	△ 118	△ 58
15～64歳	△ 473	△ 364
65歳以上	△ 17	△ 52

	年齢３区分別人口の割合（2020年）		
	七宗町	岐阜県	県内順位
0～14歳	8.3%	12.3%	41位
15～64歳	45.6%	57.3%	41位
65歳以上	46.1%	30.4%	2位



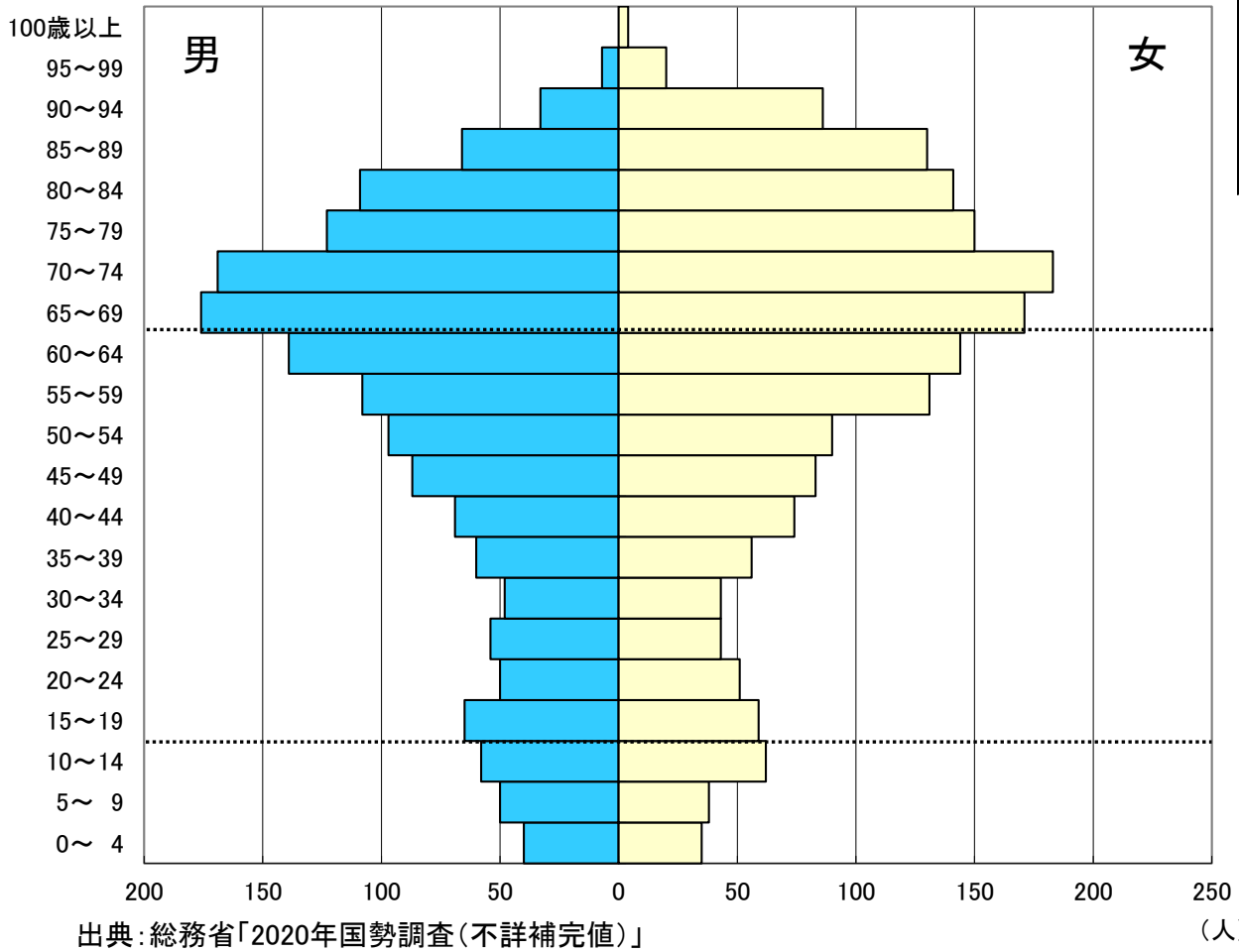
出典：総務省「国勢調査」　※各年10月1日現在の数値。2010年（平成22年）までは年齢不詳を含まない。2015年（平成27年）以降は年齢不詳補完値。

2020年国勢調査からみた人口ピラミッド

若い世代が少なく、中高年層に厚みがある年齢構造
60～70代の人口が多い

厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者はさらに増加するとみられる。
人口に占める65歳以上人口の割合　1990年：20.5%（3位）→　2015年：46.1%（2位）

2020年人口ピラミッド（七宗町）



出典：総務省「2020年国勢調査（不詳補完値）」

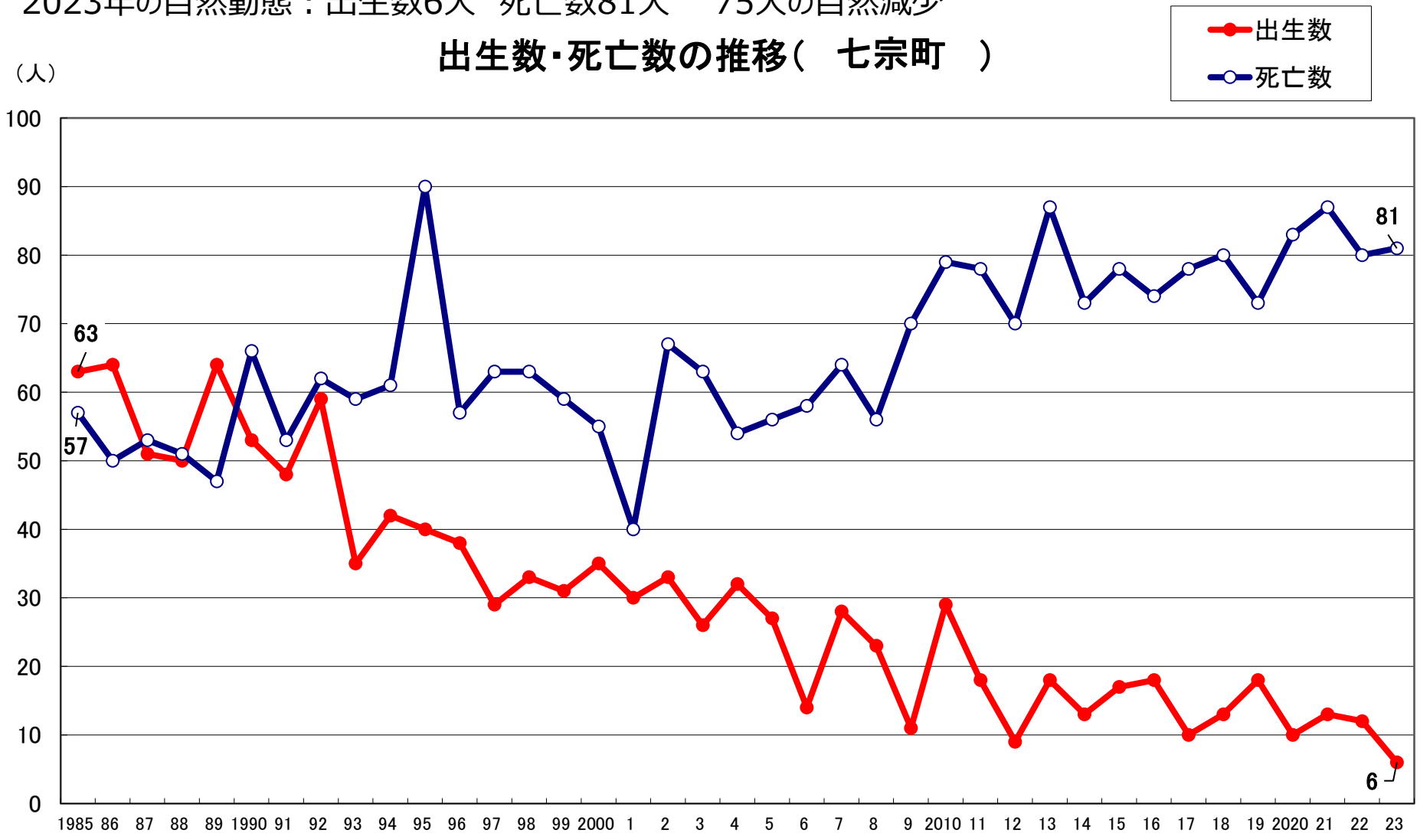
	人口（人）	構成比（%）
総人口	3,402	100.0
0～14歳	283	8.3
15～64歳	1,551	45.6
65歳以上	1,568	46.1

＜岐阜県全体の人口構成＞
・0～14歳　：12.3%
・15～64歳：57.3%
・65歳以上　：30.4%

＜構成比の県内順位＞
・0～14歳人口　：41位
・15～64歳人口：41位
・65歳以上人口　：　2位
※数値の大きい順

出生数が減少する一方、死亡数が増加
1990年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少が続く

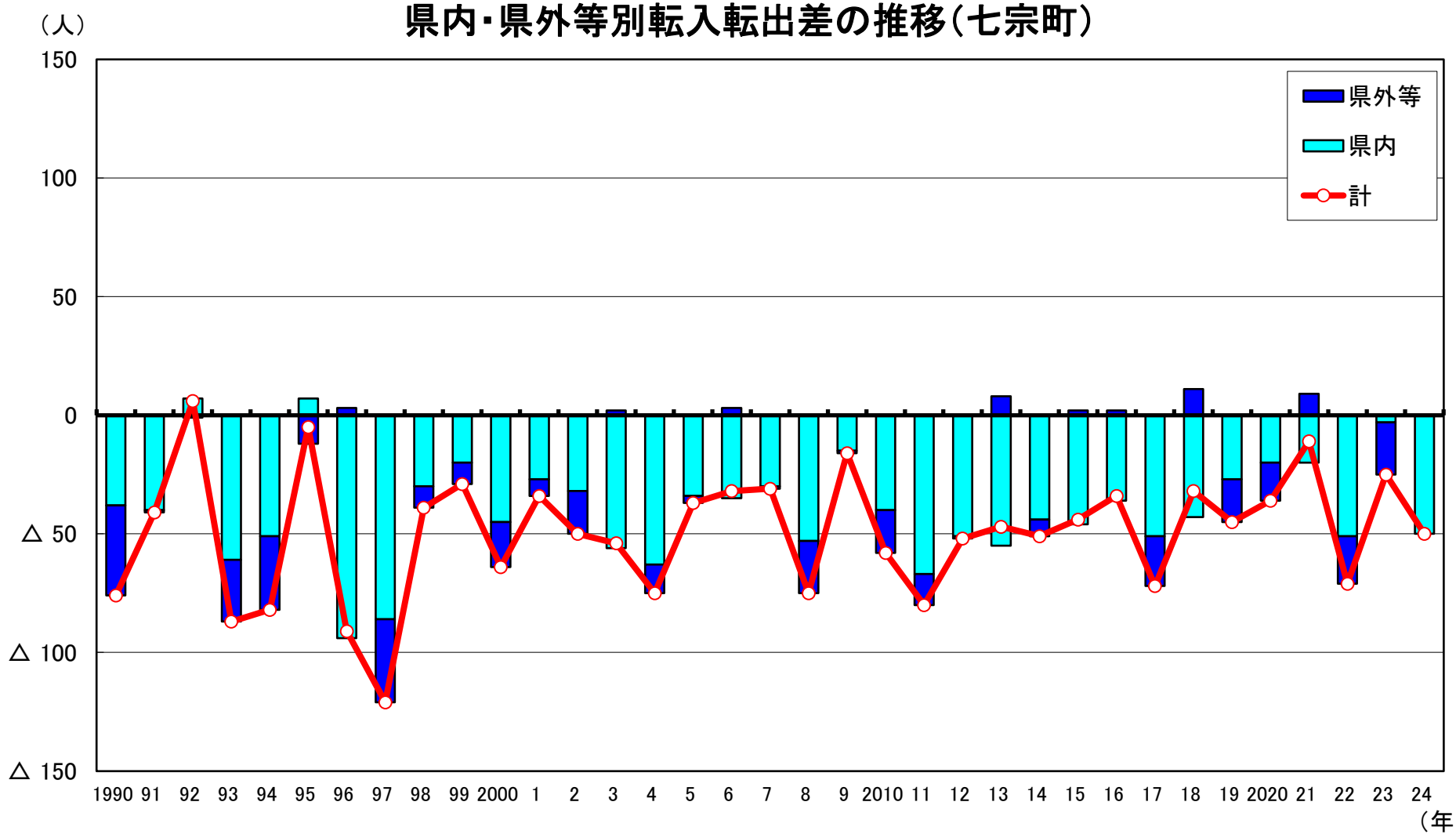
2023年の自然動態：出生数6人　死亡数81人　　75人の自然減少



出典：厚生労働省「人口動態統計」（日本人　1～12月の年計）

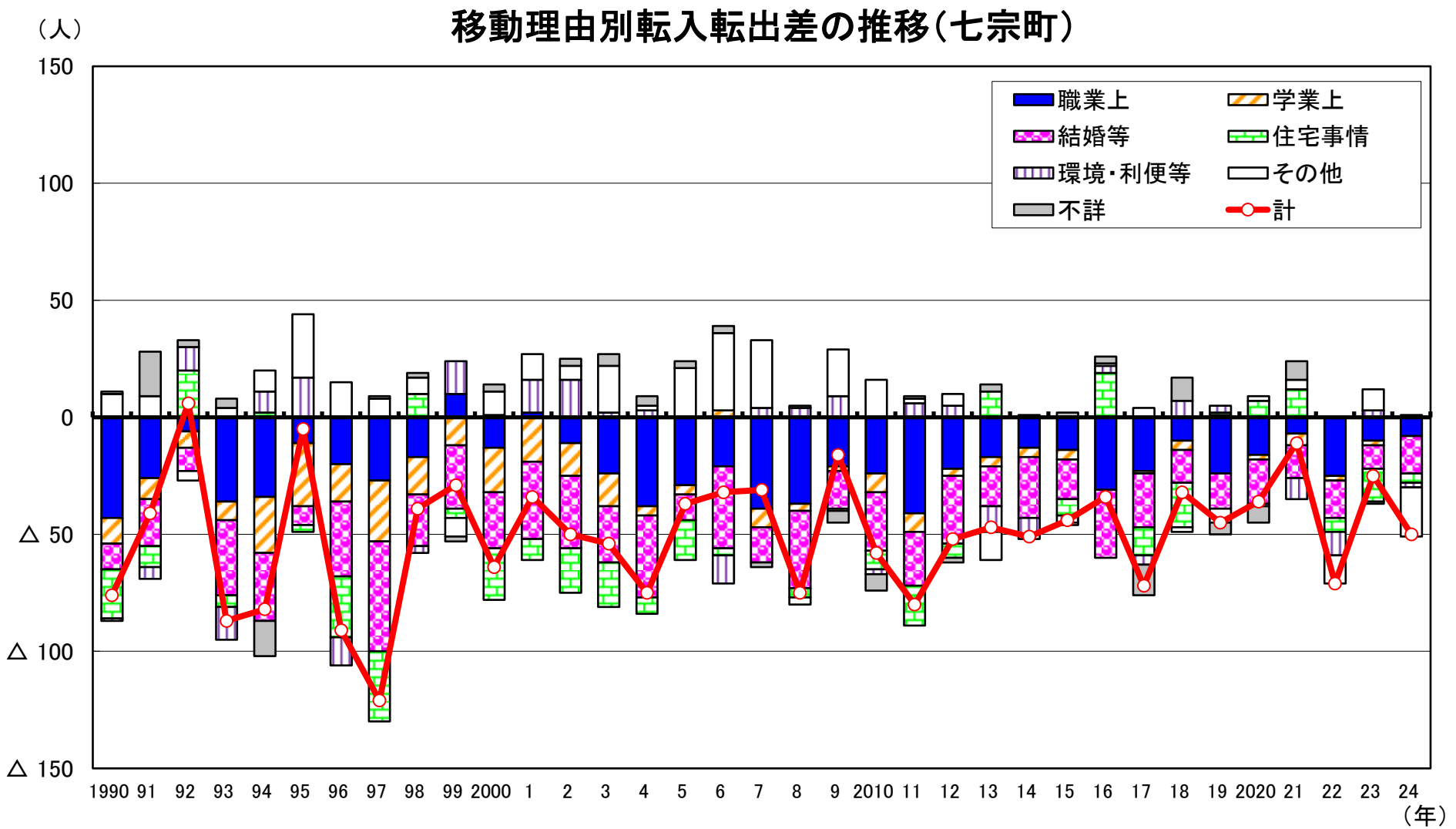
1993年以降、転出超過が続く

2024年の社会動態：転入52人　転出102人　50人の転出超過



出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」　※計、県外等には職権記載等を含む。　※転入転出数は前年10月1日～同年9月30日の合計

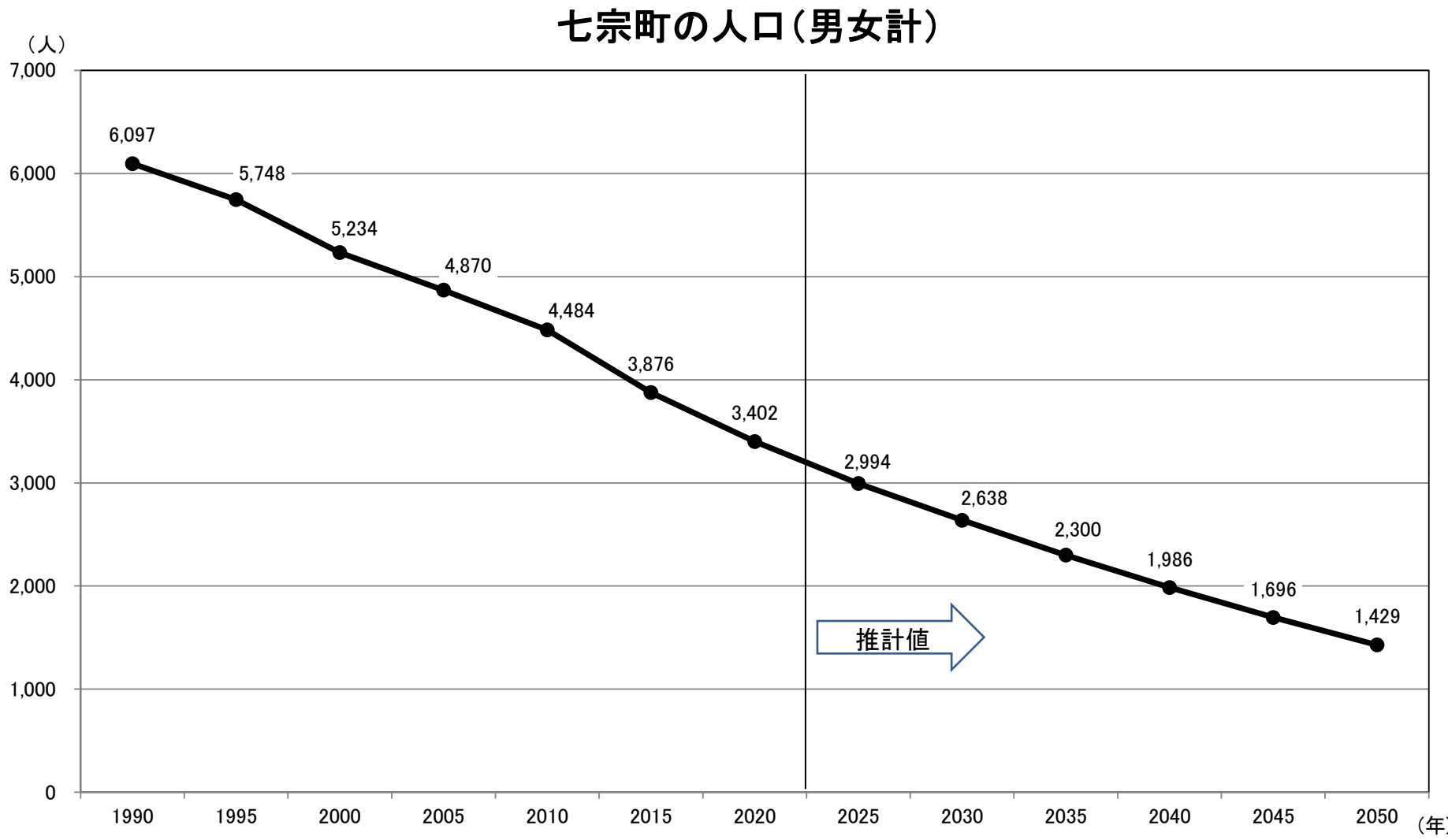
職業上、結婚等を主な理由とした転出超過が続く



出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」（不詳＝外国人＋職権、環境・利便等＝生活環境の利便＋自然環境＋交通の利便）

参考：将来の人口の見通し（総人口の推移）

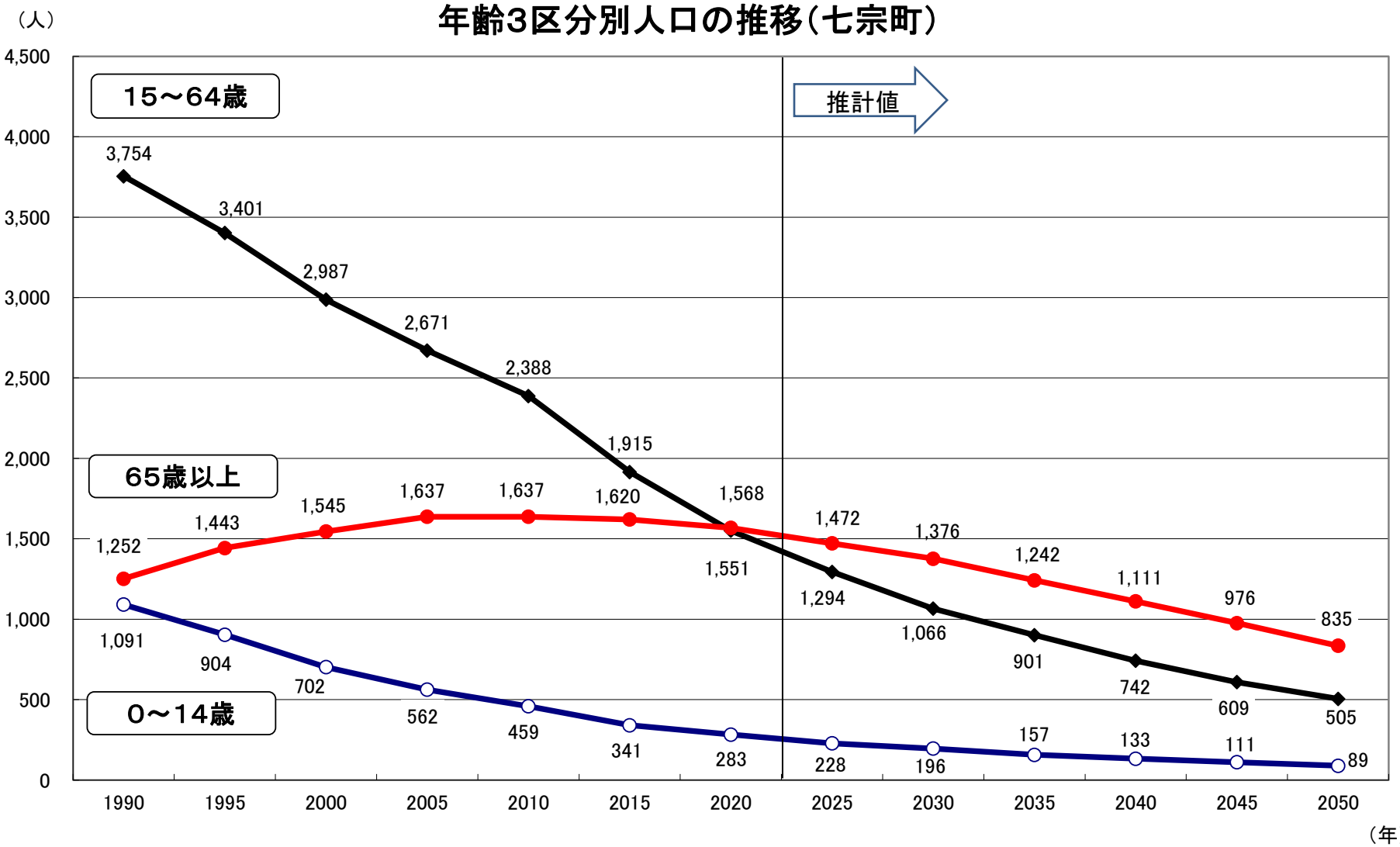
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」



出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

参考：将来の人口の見通し（年齢3区分別人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

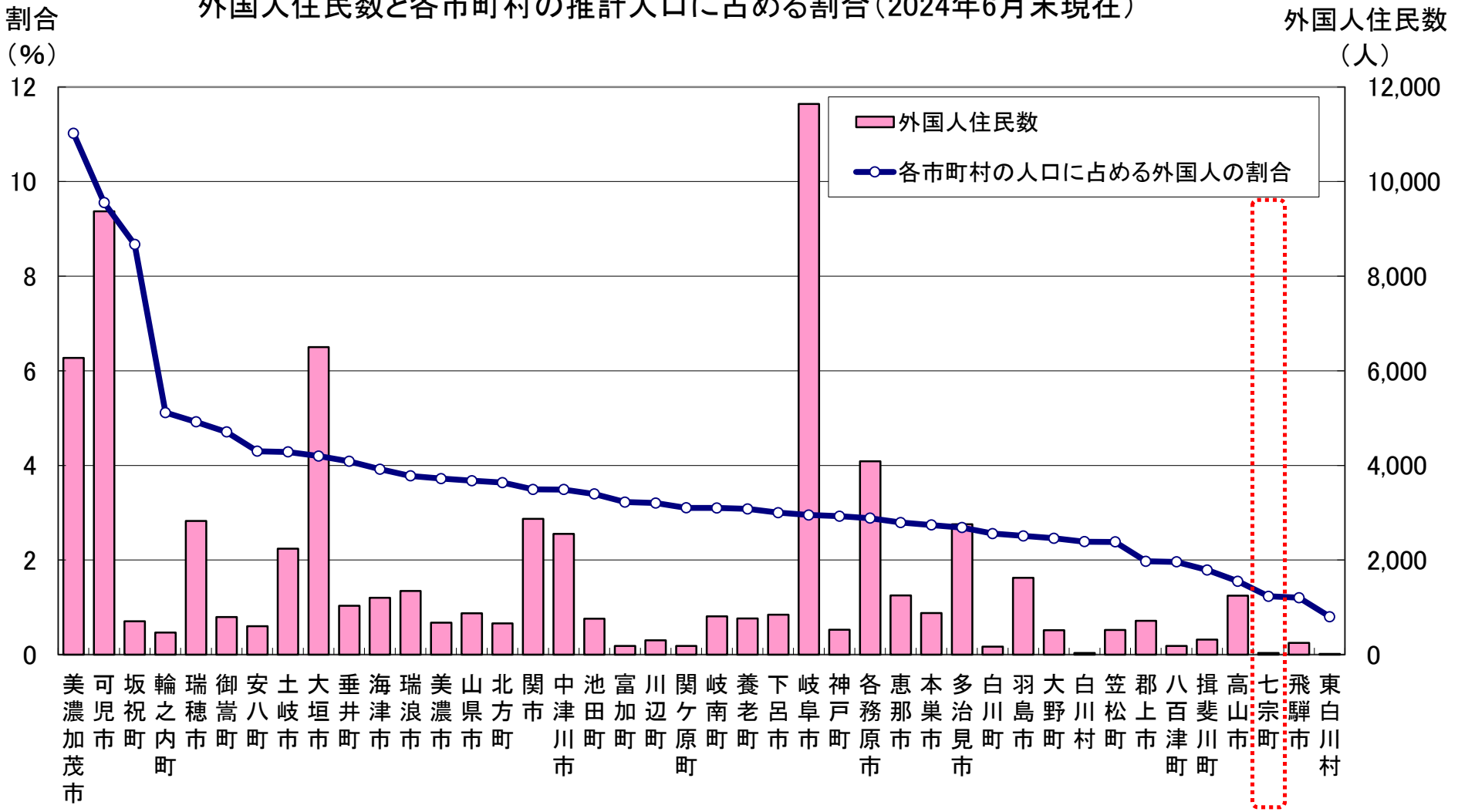


出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」
注：2015年、2020年の年齢3区分別人口は、不詳補完値。

人口に占める外国人の割合は1.2%（県内40位）

岐阜県の外国人住民数71,617人のうち、七宗町の外国人住民数（37人）は0.05%を占める

外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2024年6月末現在）

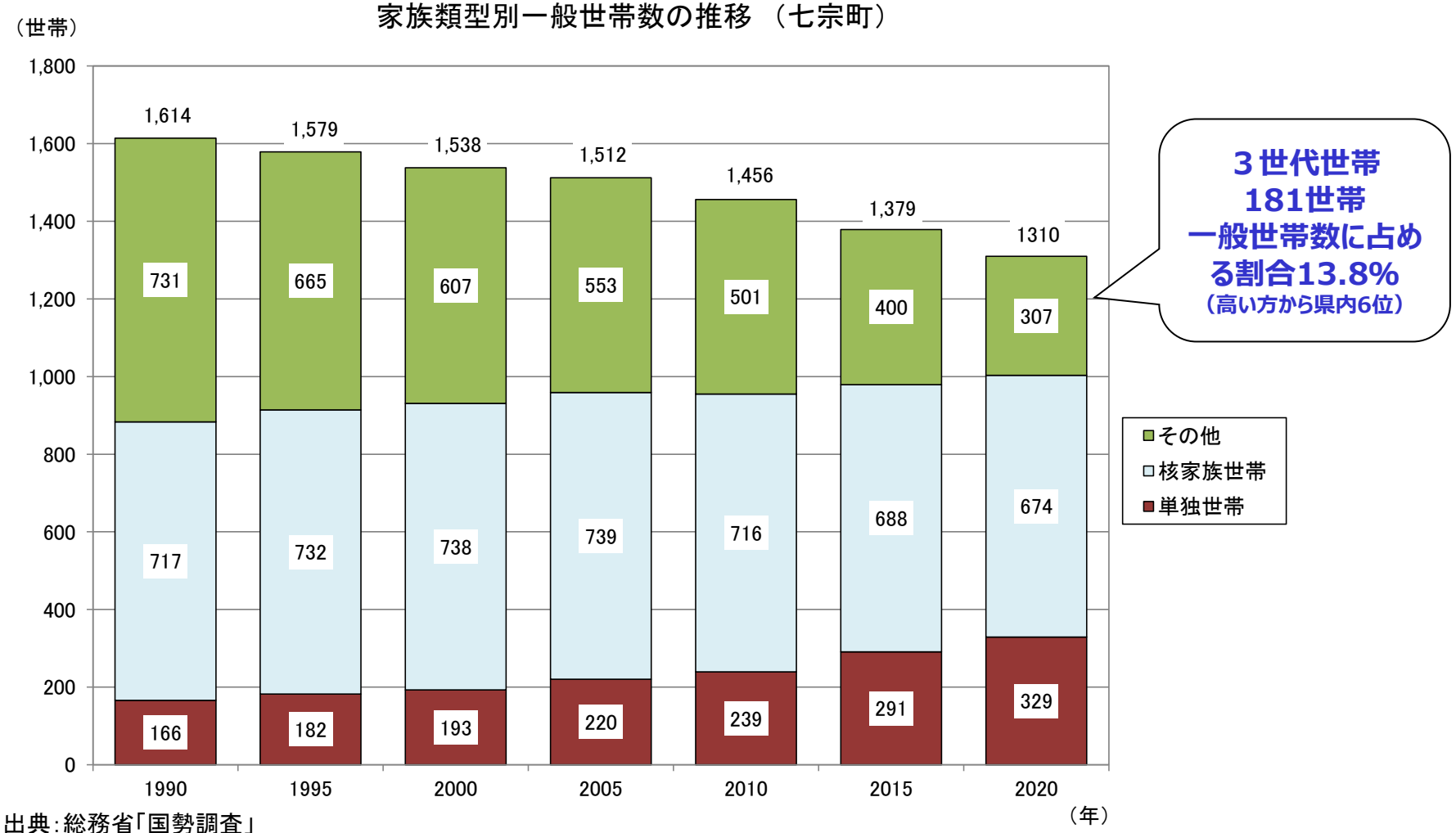


出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2024年6月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2024年7月1日現在）により算出。

一般世帯数は減少を続け、１世帯当たり人員数も減少
単独世帯は増加

単独世帯は1990年以降の30年間で約2.0倍に。
１世帯当たり人員数：3.07人（2010年）→2.57人（2020年　県内21位）

家族類型別一般世帯数の推移 （七宗町）

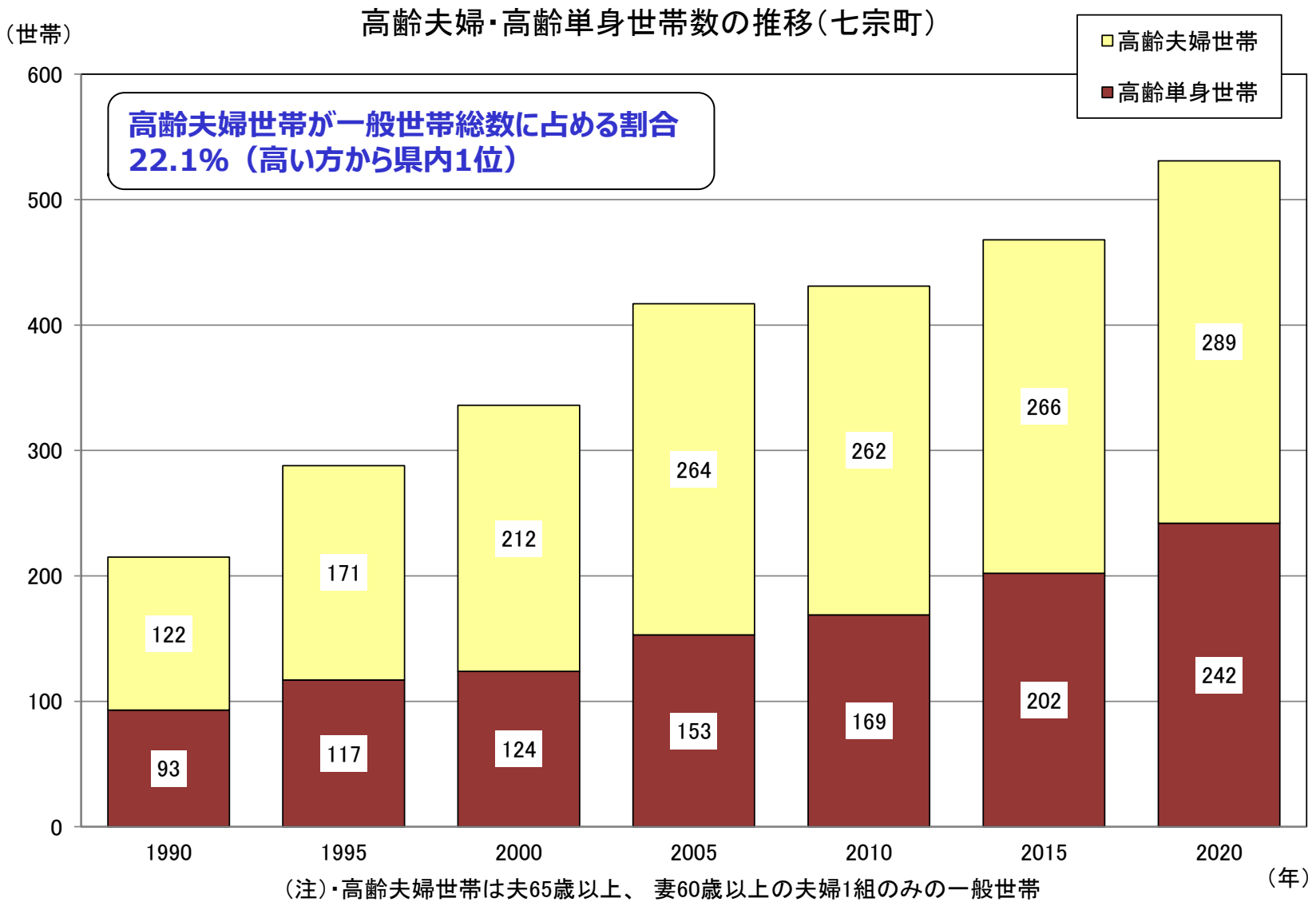


３世代世帯
181世帯
一般世帯数に占める割合13.8%
（高い方から県内6位）

出典：総務省「国勢調査」
注：一般世帯は、病院、社会福祉施設などで生活する人を除いたもの。

高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加

1990年以降の30年間で高齢夫婦世帯は2.4倍、高齢単身世帯は2.6倍に増加。



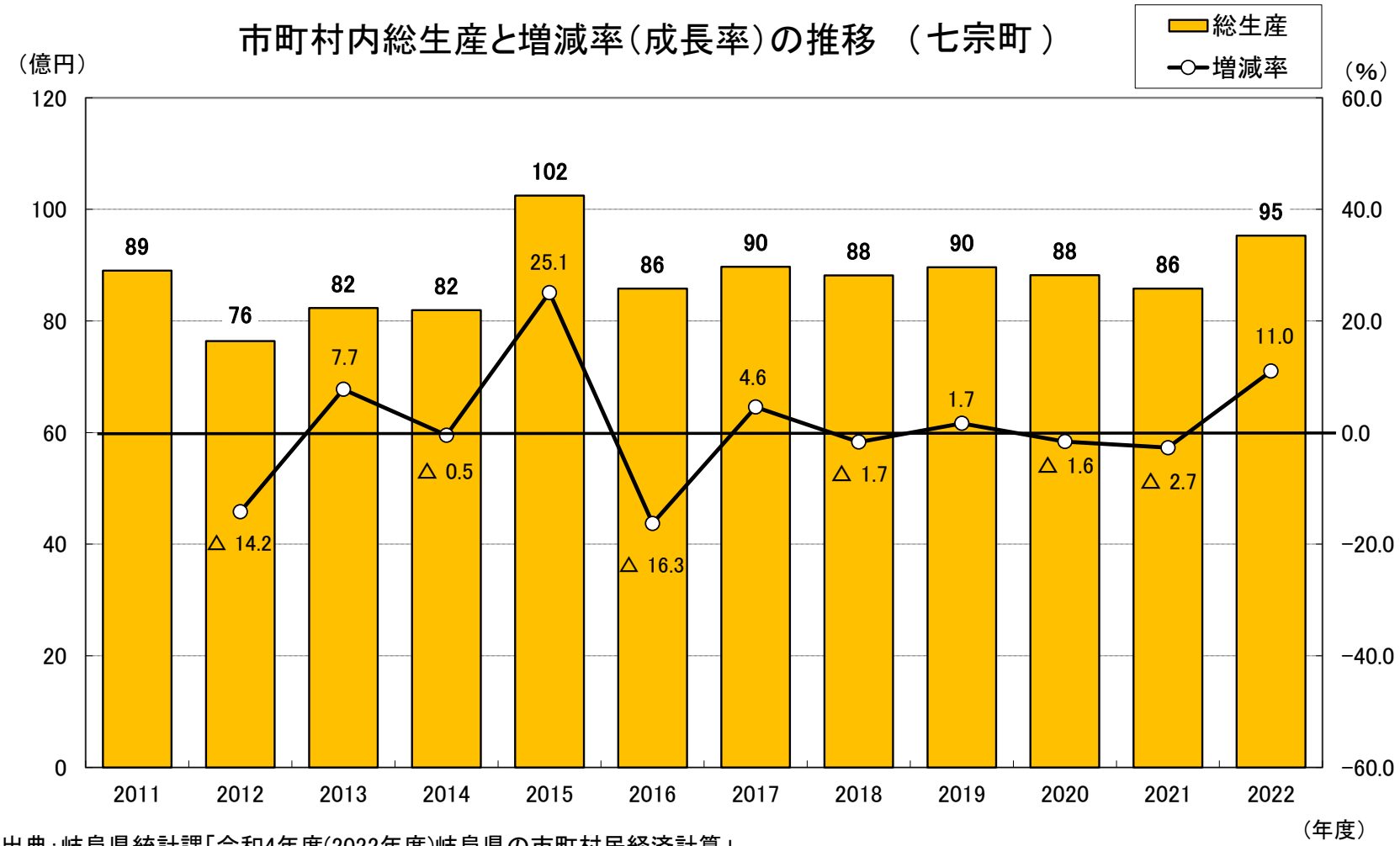
（注）・高齢夫婦世帯は夫65歳以上、 妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯
・高齢単身世帯は65歳以上の人一人のみの一般世帯

出典：総務省「国勢調査」

七宗町の総生産は95億円
１人当たり市町村民所得は269万5千円

総生産は県（名目8兆2252億円）の0.1%、県内41位
１人当たり市町村民所得は県（319万2千円）の84.4%、県内41位

※１人当たり所得には企業所得等を含み、市町村全体の経済水準を示すもの

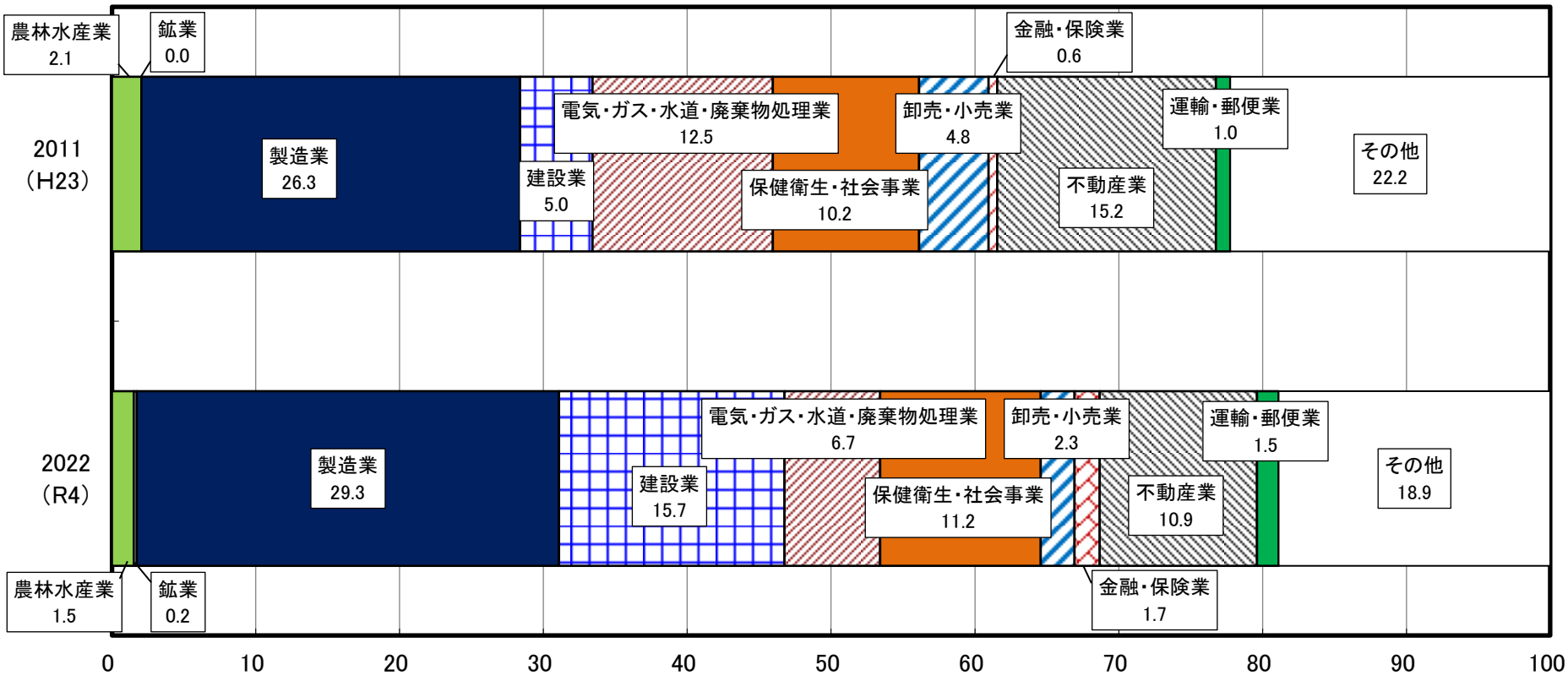


出典：岐阜県統計課「令和4年度(2022年度)岐阜県の市町村民経済計算」

第２次産業が45%、第３次産業が52%を占める産業構造

製造業、建設業の割合が高い

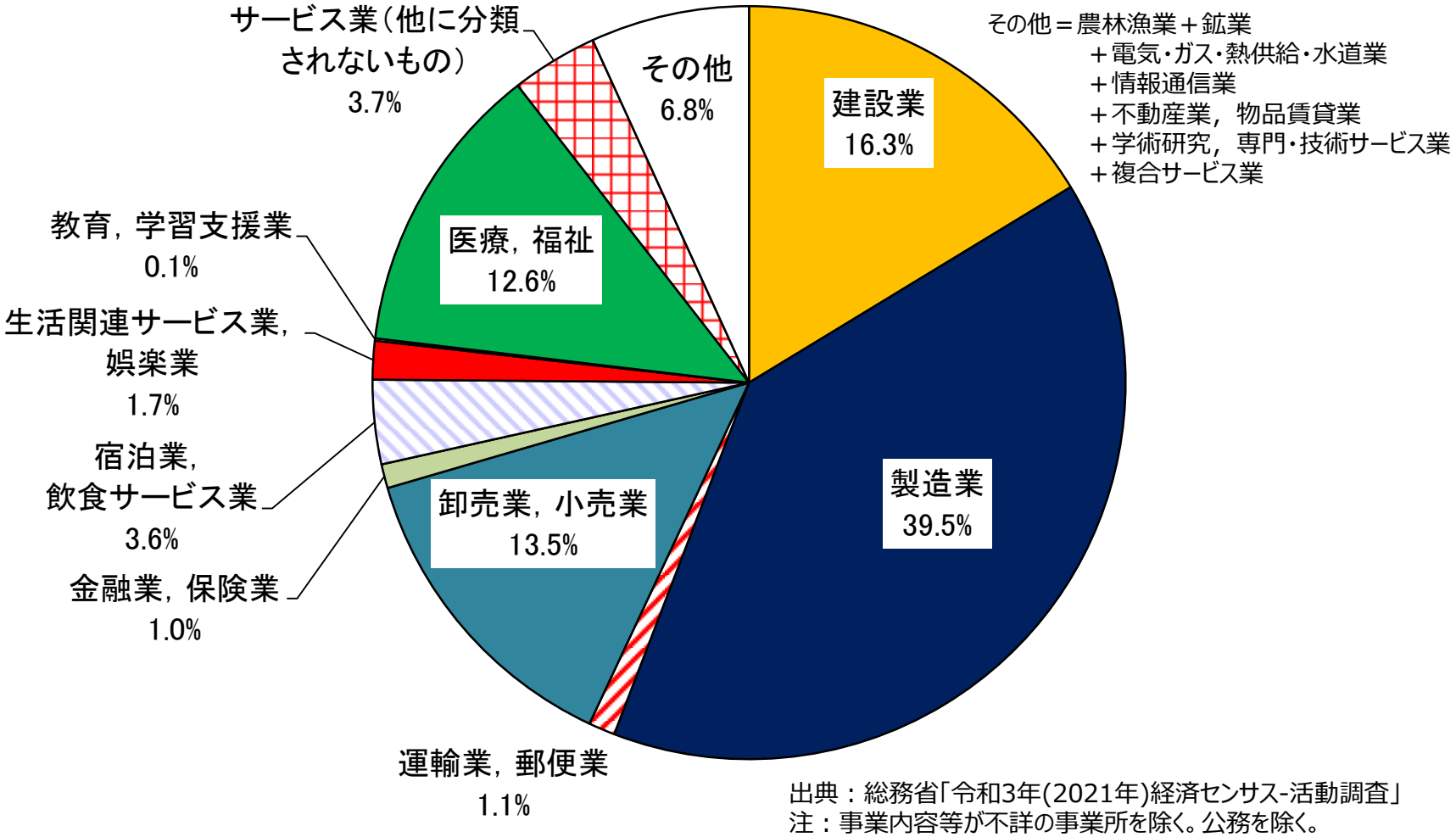
市町村内総生産の経済活動別構成比　（七宗町）



出典：岐阜県統計課 「令和4年度(2022年度) 岐阜県の市町村民経済計算」
注1：「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。
注2：「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。
なお、輸入品に課される税・関税等も含めている。

産業別の従業者数は、製造業が39.5%と最も多く、次いで建設業が16.3%と多い

産業別従業員数の構成比（七宗町　2021年）



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注：事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

産業別従業者でみると、全国と比べて、農林漁業、製造業の特化係数が高いことが特徴

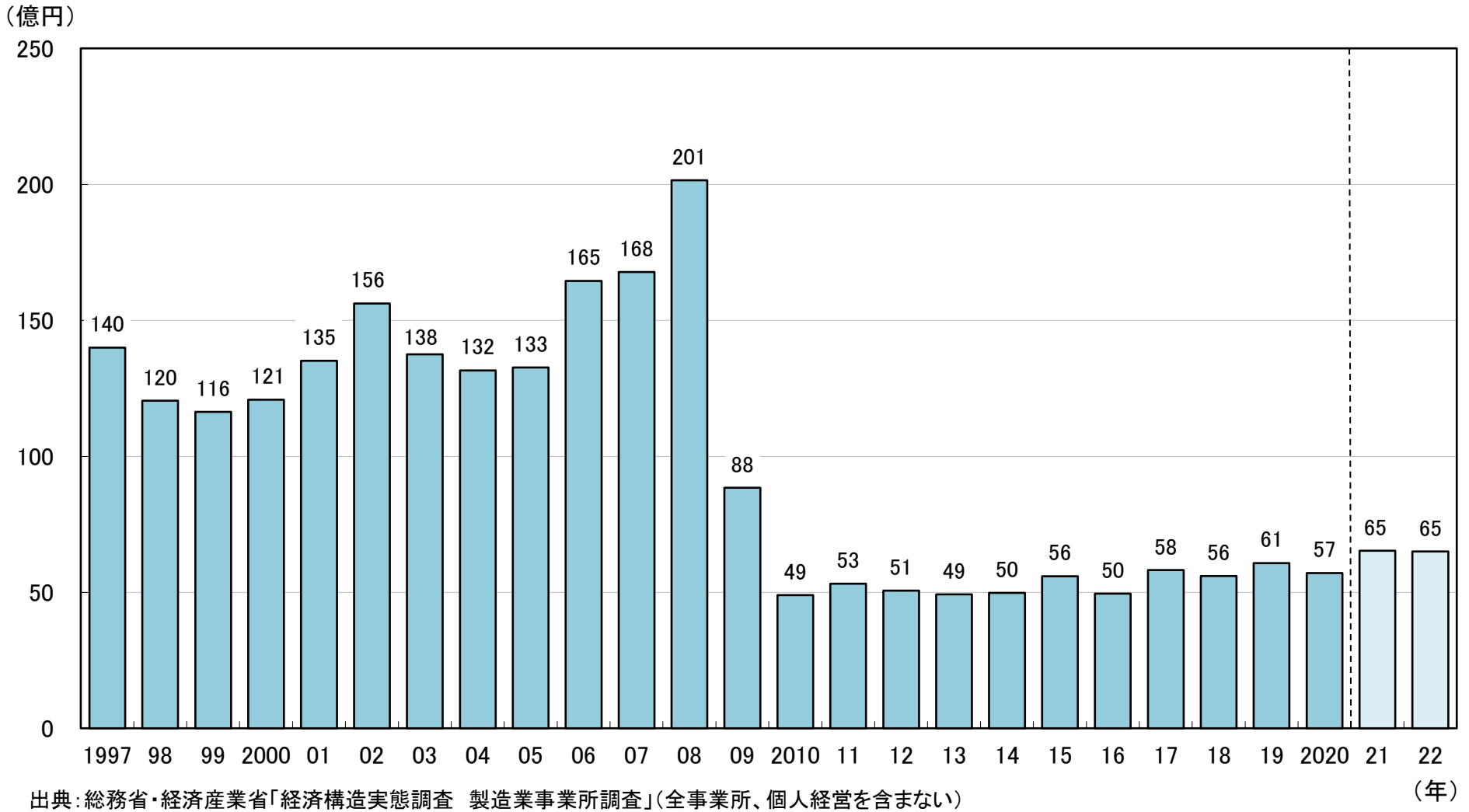
産業別事業所数、従業者数 （七宗町　2021年）

	事業所数	従業者数		産業別従業者数の構成比による特化係数	
		（人）	構成比	全国=1.00	県=1.00
総数	172	969	100.0	1.00	1.00
農林漁業	2	46	4.7	6.06	4.39
鉱業	0	0	0.0	0.00	0.00
建設業	41	158	16.3	2.53	2.39
製造業	31	383	39.5	2.60	1.59
電気･ガス･熱供給･水道業	1	1	0.1	0.30	0.34
情報通信業	0	0	0.0	0.00	0.00
運輸業，郵便業	3	11	1.1	0.20	0.25
卸売業，小売業	36	131	13.5	0.67	0.71
金融業，保険業	4	10	1.0	0.40	0.45
不動産業，物品賃貸業	0	0	0.0	0.00	0.00
学術研究，専門･技術サービス業	2	10	1.0	0.28	0.45
宿泊業，飲食サービス業	12	35	3.6	0.45	0.44
生活関連サービス業，娯楽業	13	16	1.7	0.44	0.41
教育，学習支援業	1	1	0.1	0.03	0.04
医療，福祉	10	122	12.6	0.89	0.95
複合サービス事業	2	9	0.9	1.23	1.02
サービス業（他に分類されないもの）	14	36	3.7	0.41	0.52

出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注）事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

2022年の製造品出荷額等は、65億円

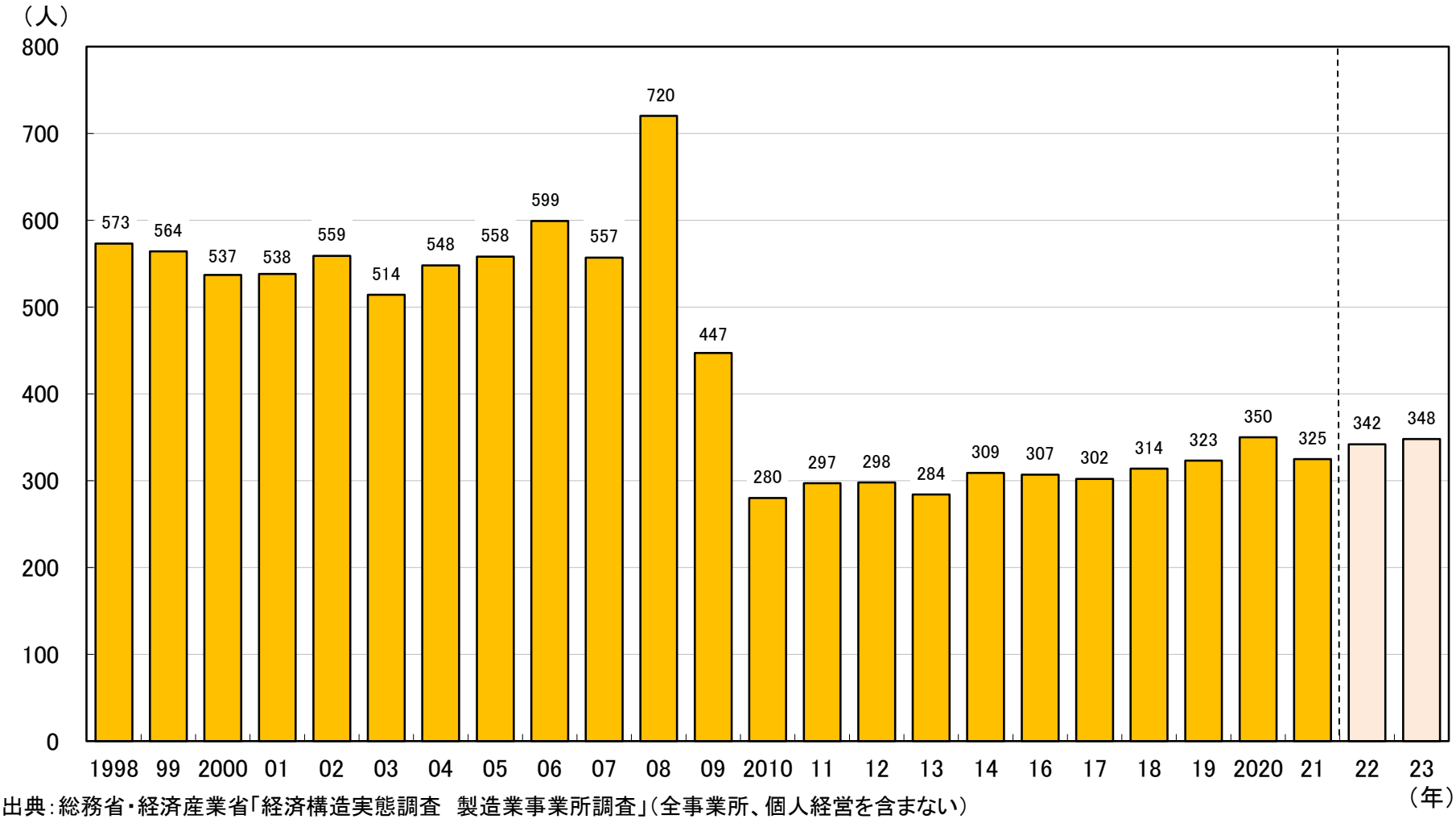
製造業製造品出荷額等の推移（ 七宗町 ）



出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査　製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）
1997年～2019年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）
注：「経済構造実態調査　製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

製造業の従業者数は、2009年に大きく減少
近年はほぼ横ばい

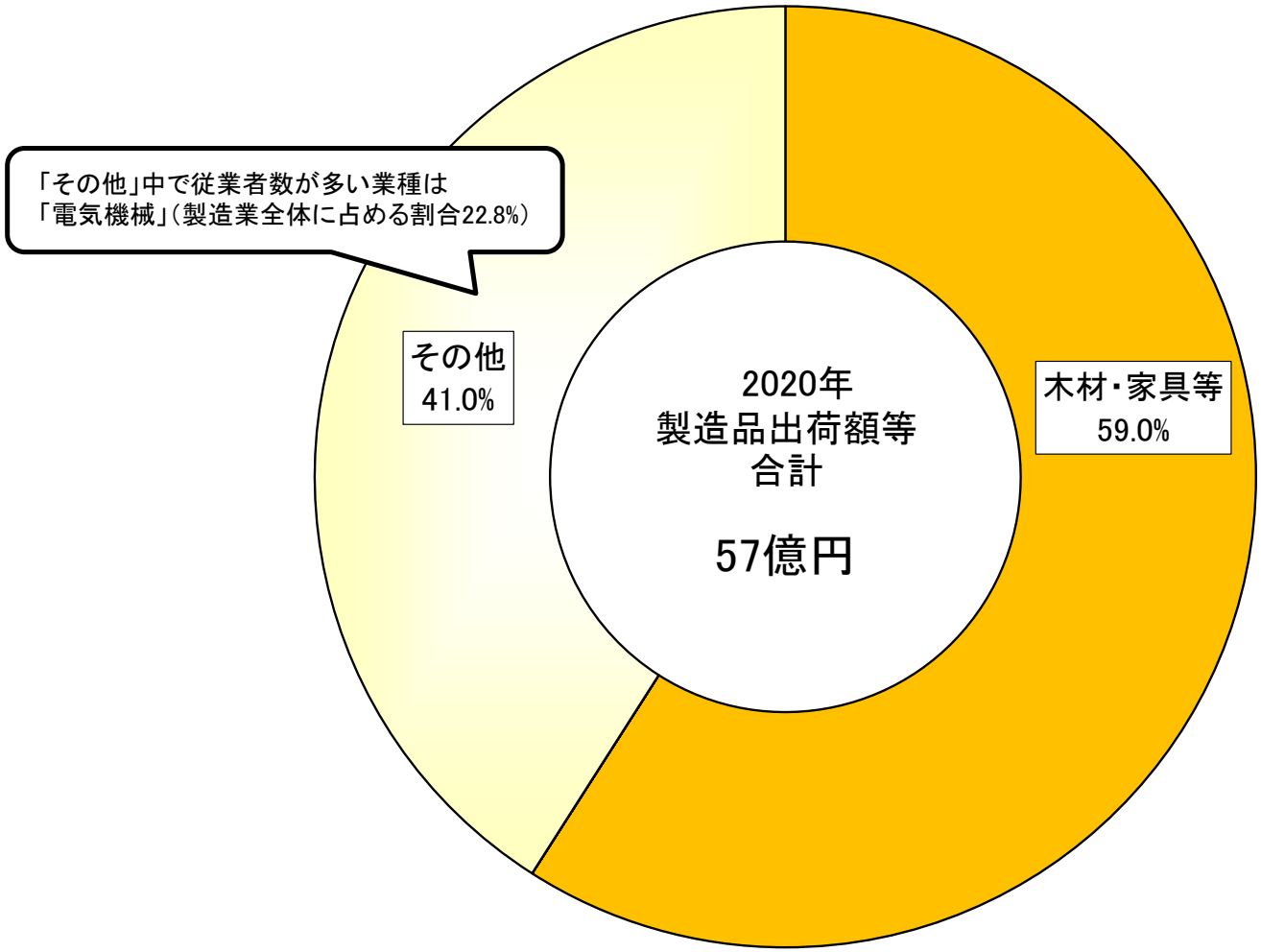
製造業従業者数の推移（ 七宗町 ）



出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査　製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）
1998年～2020年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）
注：「経済構造実態調査　製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

木材･家具等が59.0%を占める

製造品出荷額等の業種構成＜　七宗町　＞



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）
注1：「一般機械」＝はん用機械器具＋生産用機械器具＋業務用機械器具
注2：「木材･家具等」＝木材･木製品製造業（家具を除く）＋家具･装備品製造業
注3：事業所数が少ないため製造品出荷額が秘匿となっている業種は「その他」に含む。
　　また、「一般機械」、「木材･家具等」は、内訳の業種に秘匿がある場合は、その業種の製造品出荷額は合算していない。（「その他」に含む）
注4：単位未満を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。